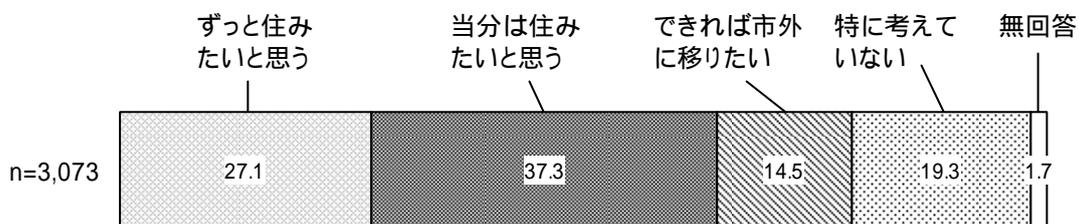


(4) 定住意向

問2 あなたは、今後も新座市に住みたいと思いますか。それとも住みたいとは思いませんか。次の中から1つ選んで、をつけてください。

新座市への定住意向は、「当分は住みたいと思う」が 37.3%で最も高く、これに「ずっと住みたいと思う」(27.1%)、「特に考えていない」(19.3%)の順で続いている。「ずっと住みたいと思う」、「当分は住みたいと思う」の両者を合わせた『住みたいと思う(計)』(64.4%)は6割以上を占めている。「できれば市外に移りたい」は 14.5%であった。

図 14 定住意向



【属性別の傾向】

「性別」では、大きな特徴が見られなかった。

「性別・年齢別」では、「ずっと住みたいと思う」が男女とも年齢層が高くなるにしたがって、増加傾向となっている。「できれば市外に移りたい」について見ると、女性の 20 歳代(19.9%)と 40 歳代(20.5%)で高い割合を示している。

「居住年数別」では、20 年以上(34.4%)と生まれてからずっと(41.4%)で、「ずっと住みたいと思う」が高い割合を示している。

「世帯構成別」を見ると、三世帯世帯で「ずっと住みたいと思う」が 36.2%と高かった。

「居住地域別」については、東部地域と南西地域で「できれば市外に移りたい」がそれぞれ 19.6%、20.4%で 2 割前後と高かった。

図 15-1 属性別の定住意向(性別、性別・年齢別)

□ ずっと住みたいと思う ■ 当分は住みたいと思う ▨ できれば市外に移りたい □ 特に考えていない □ 無回答

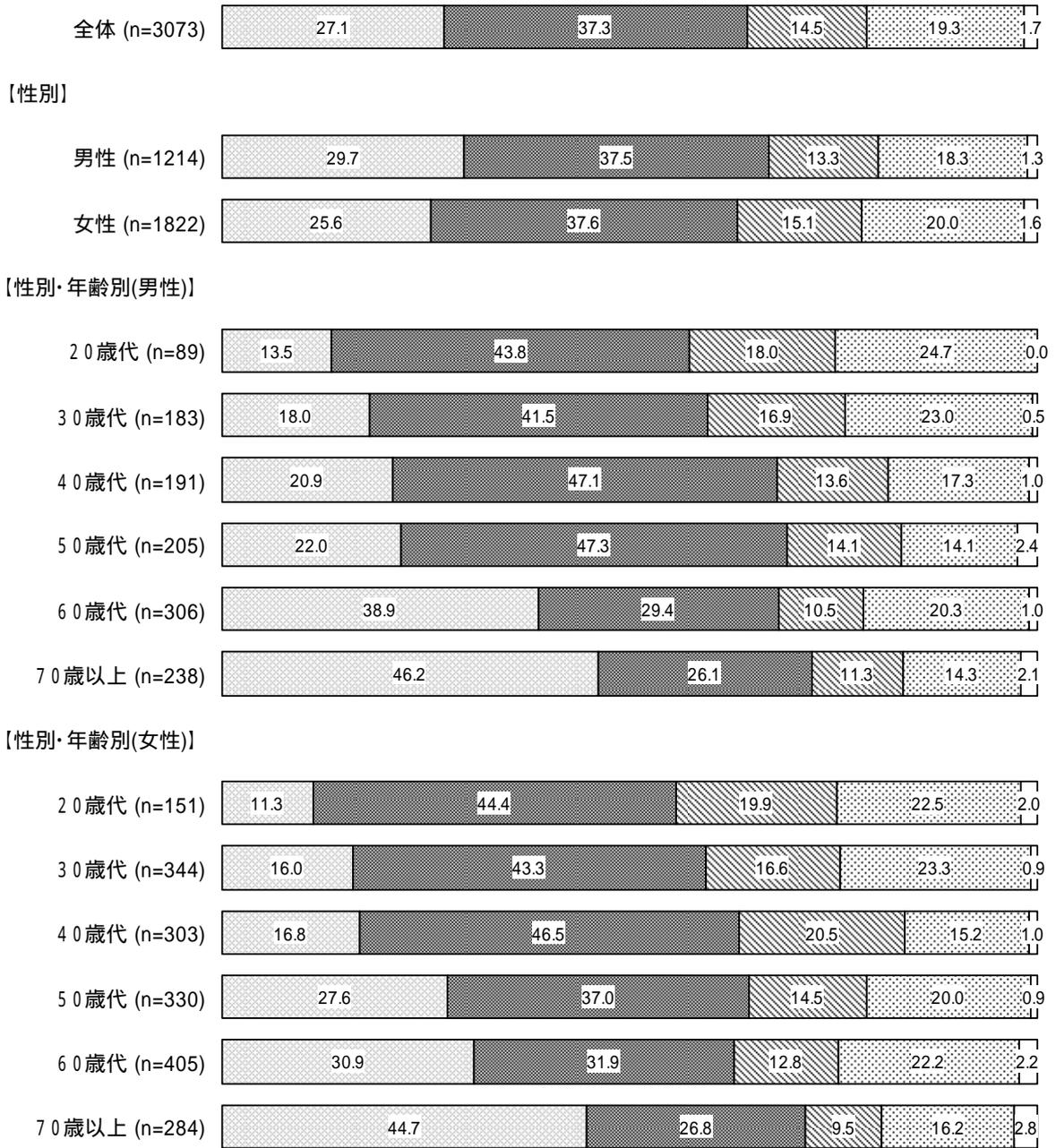
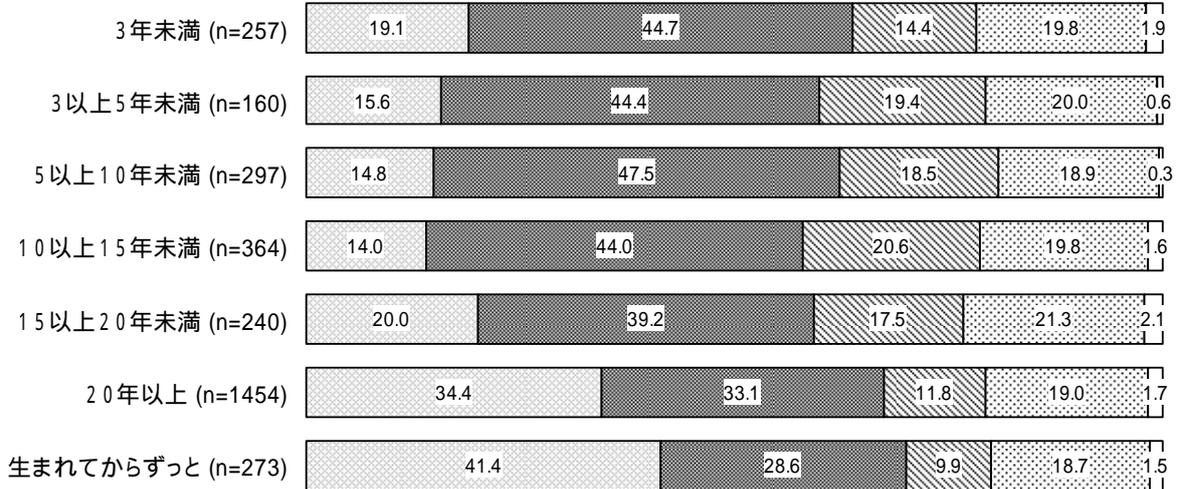


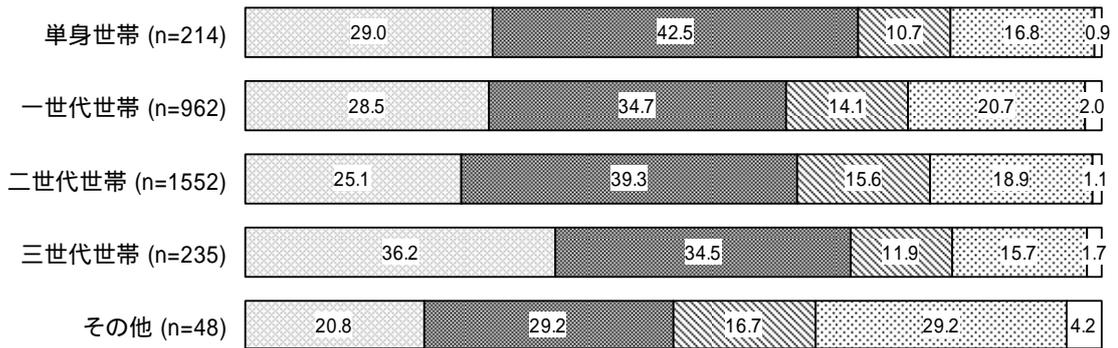
図 15-2 属性別の定住意向(居住年数別、世帯構成別、居住地域別)

□ ずっと住みたいと思う ■ 当分は住みたいと思う ▨ できれば市外に移りたい ▨ 特に考えていない □ 無回答

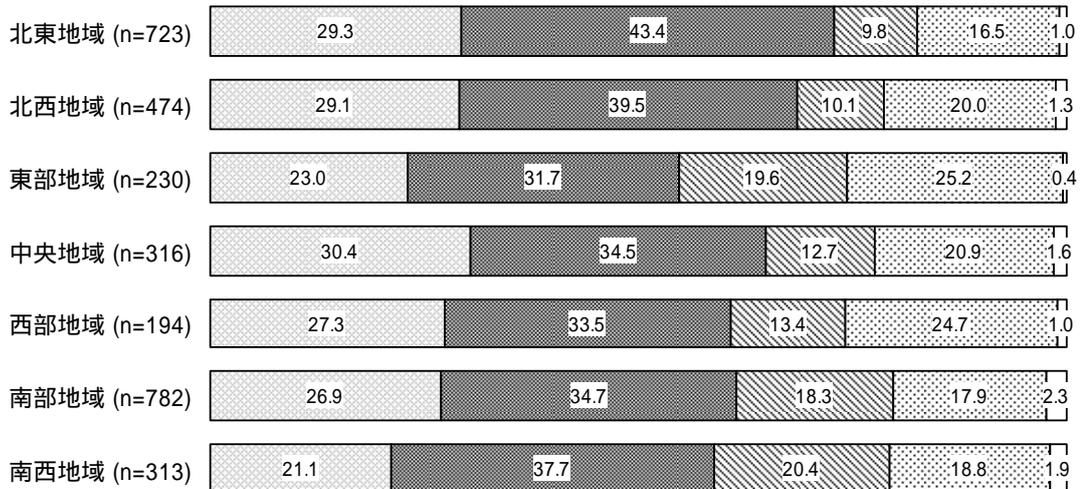
【居住年数別】



【世帯構成別】



【居住地域別】

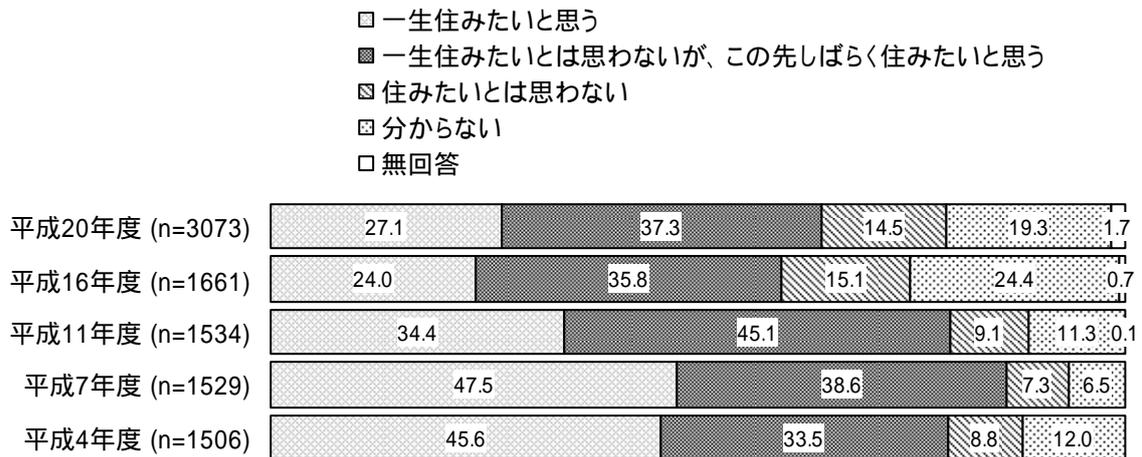


【経年比較】

選択肢の項目が同一でないため、参考コメントとする。

過去4回と比較すると、『住みたいと思う(計)』は平成16年度より増加となっている。しかし、平成11年度以前と比べると2割程度低い結果であった。

図 16 定住意向(経年比較)



注:経年比較では、平成20年度、平成16年度の選択肢「ずっと住みたいと思う」を『一生住みたいと思う』に、「当分は住みたいと思う」を『一生住みたいとは思わないが、この先しばらく住みたいと思う』に、「できれば市外に移りたい」を『住みたいとは思わない』に、「特に考えていない」を『分からない』として比較した。